

流し灯籠ボランティア

会行事は、会員や地域の皆さまの参加をお待ちしています。



8/15 夕刻から始まるご先祖様と家族が絆を確かめる灯籠流し

8/16 早朝には川塵や灯籠の拾い集め作業、川の環境保全を守る

今年も 8/15 の筑後川（場所は水天宮下の河川敷）で盆の行事が行われました。流し灯籠について、SNK では、毎年ボランティア応援をやって来ましたが、日本の各地で、昔から行われている祖先を敬う流し灯籠の行事は、無秩序に実施すると河川の汚染につながります。筑後川では木と紙で作った灯籠を有料で販売して、流してもらい、それを翌日回収します。またお供え物は係員が受け取って川に流さないようお願いしています。この行事には毎年 3 千個ほどの灯籠が流され、推定ですが約 1 万人程度の皆さまが参加される大イベントとなっています。（理事 島井新一郎）

スーパーシニアの勉強会（2015）終了しました

- 第 1 回 4 月 11 日 「認知症予防の実践報告」 : 江上憲一講師（会員）
- 第 2 回 5 月 9 日 「遺言の話」 : 日野眞郷講師（会員）
- 第 3 回 6 月 13 日 「介護難民の時代を生きる方法」 : 保坂恵美子講師（会員）
- 第 4 回 7 月 11 日 「ホームレス、留学生が見た日本」 : 李曉鵬講師（久留米大学）
- 第 5 回 8 月 8 日 「健康と介護保険の話」 : 久留米市役所健康福祉部

※2014 年に続いて、第 2 期となる今年も、シニアの現状を理解する認知症の話題を中心に勉強会を行いました。講師は内外の専門家を招聘、質問を交えた講義は盛会、締め括りは行政の出番です。テーマ・1「健康生きがいの話・長寿支援課」 テーマ・2「介護保険制度・介護保険課」参加者がスーパーシニアとなることを目標にした勉強会です。（理事 一ノ瀬尚文）

シニアネット福岡（SNF）との交流会



SNF 大名教室での意見交換風景: 便利な天神地区のビルを本部にする SNF での交流会（左から岡田、報告する金子、小島、手柴、袴田、原田の皆さん）特集と巻頭記事⇒ご覧下さい

この指とまれ

（あとがき）盆は昔から伝わる先祖供養の行事が家庭で執り行われ、精霊流しとして長く伝わってきただけに、仇やおろそかにすれば祟りがあるやもしれない。だが長く続けた地元の有志のお世話では対処できなくなり、10 年ほど前から SNK が応援、義を感じてボランティアを行ってきた。筑後川を美しいままに、だがその意思を理解しない者も増えてきた。祖先を敬う尊い教えと習慣を、このめまぐるしく変わる時代にシニアの肩で存続させるボランティアでは限界がある。お盆という行事の新しい伝統や筑後川が本来持つ自然の美しさを、制度として保全する仕組みが考えられるべきだ。（式）



編集・発行
NPO シニアネット久留米
理事長 小島紀夫
久留米市御井町 387
TEL 0942-65-4545

シニアネット間の情報交換・交流会

理事 島井新一郎



8 月 28 日、小島さん・金子さん・岡田さん・一ノ瀬さん・私の 5 名で福岡シニアネット (SNF) を訪問し情報交換を行いました。

SNF は 1997 年 11 月に設立されていますが、SNK の方がちょっとだけ先輩だった関係で当初は SNF の幹部の皆さんが多く SNK にも参加されていたこともあり、総会するときなど SNK メンバーが数名で参加して交

流が活発でした。その後、「どんたく」以外の交流はほとんどなかったのですが現在 SNK としては会員の減少と一般市民のパソコン教室受講者の激減という悩みがあり、SNF はどうだろうということになり情報交換を申し込んだ次第でした。

当日は SNF の大名町の本部事務所に手柴理事長を含め 7 名の理事などの幹部のみなさんが待機されており、17 時から 2 時間ほど意見交換し、その後場所を SNF のたまり場に移して、会食しながらの 2 時間の交流でした。

SNF では福岡市の後援を得て実施している馬出の教室を含め、3 箇所パソコン教室があり現在も活発に活動中とのことで、財政的にもその収入が大きな柱になっているとのこと。またメンバーの同好会「歩こう会」は、100 名ほどの会員が参加し、例会では毎回 40 名以上の参加でバスが満杯になるほどの人気とのこと。ただ、ボランティア活動的なことはあまり実施されておらず、SNK の灯籠流しや、カブトムシの小学校への提供・幼稚園児の芋ほり体験会などの紹介には大いに興味をもたれたようでした。

いずれにしろ、SNF も会員数は全盛期に比べれば 100 名ほど減の 350 名程度で会員減の悩みは同じようです。

SNK の場合、今後はパソコン教室の復活はあまり望めないのが、現在社会問題となりつつある、高齢者の認知症患者などに対するボランティア活動に、力をいれて行く必要があると考えています。今回の交流会は非常に有益だったとのことで、来年秋にはぜひ久留米でやりましょうと約束して解散しました。

シニアネット福岡 SNF & SNK シニアネット久留米 第1回九州シニアネットサミット、その後の交流会

シニアネット福岡 会員 357 名



SNK様とは、3年ほど前までは、5月の「どんたく・パレード」に一緒に頂き、パレード後の慰労・懇親会などで交流の場を持ててましたが、その後、お会いする機会が少なくなっておりましたところ、小島理事長の提案で、8月28日に久しぶりにお会いして意見交換、懇親の場を持つことが出来ました。SNFの近況は、会員数(357名、男:150女:207、男女比42:58、年齢50~100台、平均年齢70歳弱)。

パソコン教室受講者数(26年度3教室実績合計5,418名)が、ここ数年暫減傾向に有ります。会員の知恵・アイデアを持ち寄って…「新しい時代のシニアライフを応援」…を旗印に、新しいニーズに答えたパソコン教室を考えています。会員同士の親睦の輪を広げ、同好会、賛助会員の皆さんの協力も得て、SNFに入会して良かった!…SNFづくりに努力しております。

次回はSNK様の地域に密着したユニークなボランティア活動の託を伺いに参りたいと思っております 押重良 壬些正 蓋

シニアネット久留米 会員: 243 名



SNK 設立から3度目となる本部へ2014年・御井町公民館へ移転し、大学との連携、地域社会との協働・活動を広げたいと模索している。2008年10月: 創立10周年フェスタ及び九州シニアネットサミットを開催してほぼ8年の月日が経ちました。今日的な新たな課題も増え、お互いの近況報告を兼ねた交流会を持ちたいと考えている折、SNF様の寛大なお計らいにより、得るところの多い交流会となったことを感謝いたします。 副理事長 金子忠次



↑ SNFの溜り場(百貨蔵)・女将も交え交流の和を深める、久留米祭でパレードに参加SNK↓

新たな課題 (3)会員の高齢化は進む、ボランティア活動も低調となる、会員増も課題である。

2008年10月26日久留米・六角堂のSNK10周年フェスタに集まった。六ツ門大学を会場に6団体による第1回九州シニアネットサミットを開催した。第1回サミットにて次が提案され採択された。
A九州シニアネット間の交流、 B連絡網整備(メーリングリスト) また、共通の課題を得た。
(1)会員数の減少。活動は低調の傾向⇒時代のニーズ魅力ある活動の創出。
(2)講座の受講者減は収入減を意味しており経営面への圧迫となりかねない。

反省も込めて SNK の活動報告

活動-1・サークル活動
会員相互の親睦・融和を目的に「遊ぶ」「学ぶ」「作る」「奉仕する」をテーマに展開して、サークル22グループがあります。その活動は徐々に活動エリアを市民社会レベルまで広げている。その幾つかを紹介すると、
◎パソコン教室は、設立から今日まで、その活動と実績はSNKの大きな柱。パソコンの普及が進む今日、受講生減少の傾向があり、講座運営委員会を軸に新しい講座の研究やレベルアップを目的としたカリキュラムの工夫がなされ、進化した講座は新たな需要を創出しつつある。
◎チッゴアミーゴス(ラテンバンド)は、練習を経て培った自信が施設への慰問演奏へ進み、招待を受けるほどの腕前となった。NHKのTV取材も受けた。
◎うまかもん、旬のモノを持ち寄り季節を楽しむチームは、季節ごとにあるが、特に「芋煮会」は例年10月、津福サロンで里芋を大鍋で調理して集い、日頃のメールでご無沙汰の顔を確認して好評。
◎英語で歌う会、会員外も合わせて楽しんでます。

活動-2・ボランティア活動
理念「奉仕されるより奉仕しよう」の実現。市や地域のニーズへ積極的参加地域社会との融合を前提としたボランティア活動は徐々に裾野を広がる。
◎市立小学校へ教育補助ボランティア活動
市立2小学校への「算数」と「囲碁将棋」の指導
落ちこぼれ小学生を失くそう、先生補助要員としてお手伝いします。
・カブト虫の幼虫を育て、小学生の観察に資するお手伝い(6小学校2015)
◎市民農園活動も活発です。学生や市民、高齢者や障害者、幼児、子どもなど社会に幅広く門戸を広げて、活動しています。小学校へのカブト虫育成など農園活動の一部として進展しています(巻頭記事をご覧ください)。
◎2010年耳納山麓で予定された「国際つばきサミット」は準備段階からの応援体制が敷いた。久留米市の耳納北麓は植木の産地です。
◎久留米市の盆行事『流し灯籠』8月15日水天宮瀬下町の補助的な活動を続ける。地域の諸役員会などの要望に応じて肩代わり運営が求められている。
◎「にこにこステップ運動」など地域や小学校、大学を巻き込む幅広い活動は、評価され定着している。

FUKUOKA SAFETY CENTER CO.,LTD
福岡安全センター株式会社

福岡安全センター株式会社
● トップページ
● スタッフ紹介
● 利用者の声
● コラム

安心・丁寧
信頼のおけるスタッフが
お待ちしております。

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神3丁目11-1
天神武藤ビル5F TEL 092-711-7795
TEL 092-711-7795

(有)カネダイ
福岡県朝倉郡東峰村宝珠山7
フリーダイヤル: 01 20-303039
フリーFax: 01 20-320-820
E-mail: info@k-miso.co.jp

手づくりみそ 材料セット
おみその学校

あなたのまちの
筑邦銀行

